

# 御田小 研究だより

令和元年 12月24日

港区立御田小学校

校長 濱尾 敏恵

御田小学校では、今年度「人権教育」をテーマに校内研究を行っています。

## 高学年の人権教育目

- ★社会の中の様々な人の思いに気付くことができる。
- ★より良い社会にしていこうと、自ら考え行動する。

## 第5回 研究授業報

11月27日(水) 5年2組 授業者 栗原 裕

総合的な学習の時間「差別や偏見のない社会を実現しよう」

【授業のねらい】 ○偏見のない社会を実現するには、どうすればよいか話し合う。

○話し合ったことを発表し、学級で意見を交流する。

【人権教育の視点】 ハンセン病の歴史を知り、差別や偏見がいかに人権を侵害することなのかを理解し、今後の平等な社会を実現させる行動につなげていく。

### 【授業の工夫】

#### 体験活動の充実・かかわり合い

ハンセン病回復者の方をゲストティーチャーとして招き、自身の体験を聞いたり、質問をしたりして、ハンセン病に対する知識を深めました。



#### 一人ひとりのよさを引き出す工夫

話し合いにおいて、一人ひとりの役割を決め、それぞれが発言、活躍できる場面を作りました。



#### 学びの実感をもたせる工夫

調べたことや実践したことを発表し合った後、互いの意見のよさをワークシートに書き、交流しました。

#### 〈授業を終えて〉

今回の学習では、実際にハンセン病回復者の方の話を聞き、差別や偏見を受けた方々が、どれほどつらい思いをしたのか知ることができました。その上で、どのようなことが原因で差別や偏見が起きるのか、そしてどのようにすれば差別や偏見のない社会を実現できるのかについて話し合い、子供たちは活発に意見を交流していました。話し合いの中で、相手を正しく理解することの大切さ、差別を見過ごさず声を掛けていく姿勢の大事さに気づき、平等な社会の実現に向けて行動していこうという気持ちをもつことができました。